

平成28年10月28日

原料費調整制度に基づく平成28年12月検針分のガス料金について (群馬南地区)

東京ガス株式会社
広報部

東京ガス株式会社は、「原料費調整制度」に基づき、平成28年12月検針分の単位料金を、平成28年11月検針分比べ1m³(45MJ)につき0.51円(消費税込)上方に調整いたします。

今回の調整は、平成28年7月～平成28年9月の平均原料価格に基づくものです。

これにより、1か月に39m³のガスをお使いになる標準家庭で平成28年11月検針分と比較して、20円(消費税込)ガス料金が上がります。

平成28年12月検針分に適用するガス料金については、当社ホームページ等であらかじめお知らせいたします。

1. 一般契約料金

各月のご使用量に応じてA～Cの各料金が適用されます。

(消費税込)

1か月の ご使用量	料金表A 0～22m ³	料金表B 23～223m ³	料金表C 224m ³ ～
基本料金 (円/月)	745.20	907.20	2,527.20
調整単位料金 (円/m ³)	111.47	104.23	96.99
(参考) 11月 調整単位料金	110.96	103.72	96.48

2. 標準家庭における影響

(消費税込)

1か月のご使用量 39m ³ (45MJ/m ³)	平成28年 11月	平成28年 12月	増減
適用料金(円/月)	4,952	4,972	20

- 標準家庭ガス料金は、ご家庭1件の1か月あたりの平均使用量(平成18年度～平成22年度の5か年平均)に基づき算定しています。
- 口座振替割引をご契約している場合の標準家庭ガス料金は、上記適用料金から54円(消費税込)を抜いた金額となります。

3. 原料価格の変動

(円/t)

	平成28年6月～平成28年8月の平均 (11月検針分)	平成28年7月～平成28年9月の平均 (12月検針分)	対前期 差額
平均原料価格(a)	16,450	17,020	570
LNG	34,120	35,540	1,420
LPG	37,320	35,960	▲1,360
基準平均原料価格(b)	27,350		
差額(a-b)	▲10,900	▲10,300	600

- ・ LNG価格、LPG価格はともに貿易統計値。
- ・ 平均原料価格と基準平均原料価格との差額(a-b)は100円未満切捨て。

4. 単位料金調整額の算定方法

<原料価格の変動による単位料金調整額の算定>

■平均原料価格の算定

$$\begin{aligned}
 & \text{LNG平均原料価格(貿易統計値)} &= & \boxed{35,540} \times 0.4414 \\
 & + \text{LPG平均原料価格(貿易統計値)} &= & \boxed{35,960} \times 0.0371 \\
 & &= & \boxed{17,021.47} \\
 & & & \downarrow (10円未満四捨五入) \\
 & &= & \boxed{17,020} \text{円/t}
 \end{aligned}$$

■原料価格変動額の算定

$$\begin{aligned}
 \boxed{17,020} \text{円/t} - \boxed{27,350} \text{円/t} &= \boxed{\Delta 10,330} \text{円/t} \\
 & \downarrow (100円未満切捨て) \\
 & \boxed{\Delta 10,300} \text{円/t}
 \end{aligned}$$

■単位料金調整額(m³当たり調整額)の算定

$$\begin{aligned}
 \text{単位料金調整額} &= \boxed{\Delta 10,300} \text{円} && /100円 \times 0.08424^{*1} \\
 &= \boxed{\Delta 8.68} \text{円}^{*2}
 \end{aligned}$$

*1 変動額100円につき単位料金を0.08424(0.078×1.08)円調整します。

*2 調整額がプラスの時は小数点第3位を切り捨て、マイナスの時は小数点第3位を切り上げます。

<標準家庭における影響>

	(消費税込)		
1ヵ月のご使用量 39m ³ (45MJ/m ³)	平成28年 11月	平成28年 12月	増減
適用料金(円/月)	4,952	4,972	20

* 標準家庭料金の計算方法

群馬南地区

本体料金(税込み)=基本料金(907.20円)

+ 調整単位料金(112.91円)

料金改定時の基準単位料金(税込) ↑

+ $\boxed{\Delta 8.68}$ (円) × 39m³

↑ 単位料金調整額(税込)

・ 本体料金は小数点以下切捨て

[参考]

原料費調整制度の概要

- ・ 為替レートや原油価格の変動等による原料価格の変動に応じて、毎月ガス料金の単位料金(ガス1m³あたりの単価)を調整する制度です。
- ・ 「基準平均原料価格(27,350円/t)」と「平均原料価格(料金適用月の5ヵ月前から3ヵ月前の3ヵ月平均におけるLNG、LPGの輸入価格より算定)」との差額に基づいて、原料価格の変動100円につき、ガス1m³あたり0.08424円(0.078円に1.08(消費税)を乗じた値)単位料金を調整いたします。
- ・ 原料価格の変動については、LNG、LPGとも貿易統計実績によります。
- ・ 料金の大幅な上昇を避けるため、「平均原料価格」が43,760円(上限値)を超えた場合には、「平均原料価格」は43,760円としてガス料金の調整を行います。